

# 巡回支援指導事業について

参考資料1：「巡回訪問つうしん 楽しい散歩のために編」（横浜市作成）  
 (https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kosodate/jikotaio/hoiku.htmlに掲載)

## 子どもの命を守る 楽しい散歩のために!

巡回訪問つうしん2号  
令和2年7月発行

散歩は子どもにとって身近な自然や地域社会に触れる活動です。安全に楽しい経験になるよう保育環境づくりをしましょう。

**役割分担、情報共有、連携をしましょう!**  
**【散歩など園外保育での留意点】**

- 常に子どもの人数や居場所を把握し、適宜人数確認を複数で行う
- 移動中も全員を把握できるように、誘導方法に配慮する
- 保育者の人数は、子どもの人数に対して余裕をもって配置する
- 職員間の役割分担、遊び方の共有

**【ピブス参考例】**

- 無理のない実施計画（時間・時期・場所・下見等）を立てて共有
- 保育者が運転者に向けて注意喚起をする（旗や専用のピブスなど）

**事前に共通認識・情報共有を!**

- 散歩マップでルート、危険箇所を確認し、定期的に見直しをする
- 散歩マニュアルで役割分担の確認、個々の子どもの配慮事項を共有する
- 応急処置、心肺蘇生など緊急事態への対応を共有し、危機管理訓練を実施する
- 子どもへ交通安全教育・保護者へ散歩の意義やリスクの説明をする
- ペーパークー、散歩バギーなどの安全点検（タイヤ、ブレーキ、ヘルムなど）

**当日の確認事項**

- 人数と目的地、ルートを記録
- 公園の安全点検（遊具点検、遊具回りのごみ吸い殻等、不審者、死角、日射による高温になった遊具等）
- 人数確認（散歩前、散歩中、散歩後）を適宜行う
- 健康状態などの把握、水分補給、帰園後は石鹸で入念な手洗い

## 散歩における子どもの動きの特性

1. 進級時、異年齢での活動時など嬉しくていつも以上に大きな動きになり、ケガにつながる可能性がある
2. 死角になるところや興味関心のあるところに行くことがあり飛び出し、行方不明につながる可能性がある
3. 無防備に動物や不審者に近づいていくことがある
4. 急に走ったり、靴が脱げたり、転ぶことがある
5. 先のとがった物、棒切れを拾ったり、虫、木の実、小石等を持ち帰ることがある

以上のようなことを踏まえて散歩計画を立てましょう

**リスクを想定した訓練の実施をしましょう**

散歩は日常的な活動ですが、移動中、現地に到着してからなど、リスクを想定した訓練をしておきましょう

園を離れているので、困難な出来事の際は応援を必ず呼びましょう

- 1 交通事故・地震（津波・川）
- 2 置き去り、行方不明
- 3 けがでの救急対応・不審者対応

役割分担（対応、連絡、子どもの安全確保など）を決めて、実際に動いてみるのが大切です。園全体で取り組ましましょう

**保護者と共有しておくこと**

- 公園マップを活用して利用している公園などを保護者に周知する
- 交通安全など、日ごろより保護者に意識してもらおう
- 保育参加などで散歩での子どもの姿を知ってもらおう

**すぐに使えるセットを持っていきましょう**（参考）

応急セット、連絡手段（携帯電話・無線機）、ビニール袋、タオル（体を包む、拭く、覆かせる等）飲み水、笛（異常を知らせる）、着替え（着せ替え）、ティッシュペーパー、トイレットペーパー、レジスターシート、保冷剤、おふい紐、その他園毎の状況に応じて必要なものを用意しましょう

こども青少年局 保育・教育運営課  
連絡先 045-671-3564

## 子どもの命を守る 楽しい散歩のために! その2

巡回訪問つうしん3号  
令和2年7月発行

散歩は、子どもの活発な探索活動が豊かな感覚や感性を促していく大切な活動のひとつです。それぞれの園が、散歩先や近隣の道路状況の把握、目的地での安全の確認方法など、安全で楽しい散歩をするために多くの工夫をしています。『楽しい散歩のために! その2』では、その一例を紹介します。

**～ある保育園の事例から～**

**事前準備と出発前**

- ◆散歩マップを作成しています…公園情報を職員間で共有（トイレ・水道の有無）、AED 設置施設、危険箇所を記載。工事中の箇所はその都度伝えています。
- ◆子どもの人数・体調を職員全員で共有してから出発します  
 …子どもの状態にも留意（行事前、異年齢、登園時の様子など）
- ◆役割分担を確認（リーダー、全体を把握する係、保育士の立ち位置等）、職員体制が崩れれば迷わず中止。天候によっては、無理をせず中止することもあります。
- ◆散歩ノートに記載すると共に、園に残っている職員に声を掛けています。

**目的地**

- ◆安全点検は…到着後すぐに行います。（特に飲みかけのペットボトル、煙草の吸い殻・ガラス片・砂場等特に注意）
- ◆人数確認は…必ずダブルチェックを行い、数だけではなく一人ずつ遊んでいる様子も含めて確認しています。
- ◆水道のない公園に行く時は、怪我その他に備えて水を持参します。（洗浄用等）

☆出発前、子どもの集合写真を撮影しています（万が一の時に子どもの服装が確認できます）  
 ☆集合場所がわかるように、目印となるもの（旗）を持参しています。  
 ☆他園と一緒に遊んだ時は、帽子を違う色に変えたり、遊び場所を変えています、また声を掛け合い交流したり、不審者や危険な場所の情報も伝えます。

**歩いている時**

- ◆職員間の確認と声かけ、連携を大切にしています。交差点、歩道の切れ目、曲がり角では一旦停止。自転車とすれ違う時や後ろから来た時は、職員同士声を掛け合い、止まって通り過ぎるのを待っています。
- ・横断歩道によって青信号の時間が違うので、短い場合は2列にて渡っています。
- ・歩道を歩いても障害物はいります! 植え込みの枝、電柱、側溝にも気を配っています。
- ・道路工事等で散歩ルートが途中で変える時は、園へ電話を入れています。

**～地域の人と親しくなしましょう～**

散歩の行き帰りで子どもの怪我や突発事故、地震などの自然災害等で保育園へすくえられないことがあるかもしれません。そんな時は保育園に連絡を入れると共に、近隣のお店、交番に助けを求められると良いですね。緊急時に協力や援助を仰るよう、日ごろから地域の中で協力し合うなど顔の見える関係づくりをしっかりと安心です。

**帰園時帰園後**

子どもたちが公園で見つけた石、木の实、花など帰る時にしっかり握りしめている事ありませんか? 手はつなげない、転んだら手を付けない。帰園後スポンのポケットにダンゴムシがいっぱい! なんてことも!! そんな時、先生たちはどうしていますか?

「さあ帰らしましょう!」  
「これ もってかえる!」  
「おみやげに する!」

虫などは一緒に写真に撮っています。「あとでおうちの人に見せようね」と伝えています。（写真ブログのある園）

お散歩バックを作ってます! みんな自分で持たないのでそれぞれ小さい手付きのバックです。

「また今度会いに来ようね」ってお話して、子どもたちに虫を逃がしてもらいます。

帰りは遊び疲れて子どもの集中力が落ちてしまいがち。おなかもすくし…帰りの出発時には出かけるときに以上に配慮が必要ですね。人数確認はもとより、子どもの様子をしっかりと確認しましょう。怪我はないですか? 忘れはないですか? 無事に園についたら小さな怪我も報告を忘れずに!

「うちの園は散歩ノートにヒヤリハットがあったら記入しています! すぐに情報共有できてとても便利です!」

こども青少年局 保育・教育運営課  
連絡先 045-671-3564